

2020～2021 年度  
週報



R | 会長 ホルガー・クナーケ  
R | テーマ 『ロータリーは機会の扉を開く』  
地区ガバナー 相原 茂吉  
地区テーマ 『Let's make fellows!』『友達をつくろう!』



国際ロータリー  
第2570地区

## 狭山中央ロータリークラブ

〔例会場〕 狭山東武サロン 〒350-1305 狭山市入間川3-6-14 TEL 04-2954-2511

〔事務所〕 〒350-1305 狭山市入間川1-24-48 TEL 04-2952-2277 FAX 04-2952-2366

HP : <https://www.schuohrc.org> E-mail : [schuohrc@pl.s-cat.ne.jp](mailto:schuohrc@pl.s-cat.ne.jp)

会長 柴田讓 会長レク 菊田邦彦 副会長 寶積英彦 幹事 佐々木康

[第3グループ 例会日: 新狭山 入間 入間南 飯能 日高 狭山中央 所沢 新所沢 所沢西 所沢東 所沢中央]

## 第1251回 (8月11日) 例会の記録



相原茂吉ガバナー公式訪問

点 鐘 柴田讓会長  
合 唱 国歌斉唱・四つの理想  
第2副SAA 稲見会員 小林会員

出席報告 出席向上委員会 < 小幡直樹 委員長 >

| 会員数 | 出席者数 | 出席率    |
|-----|------|--------|
| 23名 | 15名  | 78.95% |

### 会長の時間

柴田 讓 会長



私達のクラブは設立後28回目の年度を迎えております。人間で言うならば28歳で、これから人生の色々な局面で起こりうる事態に、果敢にまた積極的に取り組んでいく年齢であります。

少し過去を振り返ってみますと...

**第14年度(平成18～19年宮岡宏太郎年度)**に、識字率向上の観点から、その2年程前から「さいたまユネスコ」とタイアップしていた「ネパールのバワニ小学校の教室3室の学校建設事業」を私達の浄財で取り組み、冠名式典を20名参加の下挙行了しました。その様子は“毎日新聞”や“ロータリーの友2月号”に掲載されました。

**第15年度(平成19～20年柴田譲年度)**では、15周年を兼ねて「2008年新春記念講演」を開催し、当時の内閣総理大臣補佐官 参議院議員 中山恭子氏に來駕を賜り講演していただきました。会場の東武サロンには多くの方がお越しになり、用意した椅子が足りなかったことを覚えております。

**第16年度(平成20～21年栗原成実年度)**と**第17年度(平成21～22年小幡直樹年度)**の2カ年に渡り、米山記念奨学生ジグジット・タミラ君のカウンセラーを受けました。タミラ君の父親は“駐日全権大使”のレンツェンド・ジグジッド氏であり、交流を深める事ができました。

**第20年度(平成24～25年若松泰誼年度)**に、「モンゴル国干ばつ防止対策植樹事業」を立ち上げ、7月28日に会員家族含めて27名の参加の下“第1回モンゴル訪問”を致しました。この事業で特筆すべき事は、前回のネパールの事業と違い、国際ロータリー財団の“マッチングランド”の方式を採用してもらい、モンゴル側の“フレロータリークラブ”と私達狭山中央ロータリークラブとのクラブ同士のタイアップで対応したことです。相手国側に支援する関係で、10,000ドル(100万円)を申請して採用され、向こう3カ年での継続事業として進める事になりました。従って、毎年1回、3年間に渡り状況把握に現地へ出向き、進捗の確認とフレロータリークラブの会員との相互理解を深める事ができました。

このように、様々な事業を会員の皆様と一緒に取り組んできました。国際ロータリークラブでは、1923年セントルイス大会が開催され、「奉仕の実践」について歴史上有名な「決議23-34」が採択されました。その内容とは、『本来ロータリーとは自己の為に益せんとする願望と、他人に奉仕せんとする義務意識との間に絶えず生ずる葛藤を調和せしめんとする、人生の哲学である。』と訴えております。私達ロータリアンはこの意義をしっかり受け止め、今後のロータリーライフに活かして頂くことを希望します。

## 本日のお客様

〈 佐々木康 幹事 〉

|                    |       |
|--------------------|-------|
| 国際ロータリー第2570地区ガバナー | 相原茂吉様 |
| 国際ロータリー第2570地区     |       |
| 第3グループガバナー補佐       | 西澤長次様 |
| 国際ロータリー第2570地区     |       |
| 地区副幹事              | 高橋哲彦様 |
| 国際ロータリー第2570地区     |       |
| 地区副幹事              | 和田尚也様 |



## 幹事報告

〈 佐々木康 幹事 〉

- ◆ 9月のプログラムが理事会で承認
- ◆ 今年度の例会回数を原則月2回、コロナの状況に応じて月3回とすることが理事会で承認
- ◆ 「九州地区豪雨災害被災者に対する義援金」50,000円を一般会計より寄付実行(理事会承認済)
- ◆ 9月1日(火)に「例会場・例会日について」クラブ協議会を開催しますので、ご出席くださいますようお願いいたします。

## 受贈会報

所沢西RC

## 2019-20年度会計報告及び監査報告

\* 全会員へ決算書配布

### 会計報告

〈 2019-20年度幹事 菊田邦彦 〉

2019-20年度の会計報告は決算書のとおりです。新型コロナウイルスの影響で、後半の例会・行事がほとんど開催されませんでしたので、予算は余る結果となりました。過日、監査役及び理事の承認を得ましたのでご報告いたします。

### 監査報告

〈 2019-20年度監査 栗原成実・宮岡宏太郎 〉

7月24日に会計報告を受け監査した結果、承認致しましたのでご報告致します。内容は今ほど前年度幹事からご説明したとおりです。唯一予算オーバーした【多目的寄付】については別紙を添付しましたのでご覧ください。

## 委員会報告

・ R情報・雑誌委員会 〈 沼崎正徳 委員長 〉

「ロータリーの友8月号」の紹介

### 【横組み】

私がロータリーを続ける理由、そしてその魅力 (P7-11)

### 【縦組み】

岡倉天心の転換点 五浦という場のはたらき (P9-12)

ロータリー俳壇 日高RC 清水佳世子 (P11)

友愛の広場 埼玉県立所沢高等学校 IAC 認証状伝達式 (P13)



# 卓 話

国際ロータリー第2570地区ガバナー

相原 茂吉 様

コロナが再び猛威を振るう中、こうして公式訪問ができて本当に良かったと思っています。本日で公式訪問 10 回目です。若輩者ですが宜しく願いいたします！



ガバナーの最も重要な役目である公式訪問。すべきことは、RI 会長のテーマと趣旨、そして地区のテーマと方針を皆様にお伝えして、クラブの活性化と会員のモチベーションを上げることです！

## ロータリーは機会の扉を開く

私達の人生には可能性がたくさんあります。その可能性を掴むには色々なアプローチの仕方があると思います。その可能性すなわち“機会”。奉仕の理念のもと、ロータリーは多様性に溢れています。人によってさまざまな価値観があります。様々な価値観、それは無限の可能性へのつまり“機会”への招待です。

## 地区とクラブの活性化

私が非常に心配したことは、コロナの影響で多くのロータリアンが退会してしまうのではないかとことです。孟子の言葉に『恒産無くして恒心無し』という格言があります。一定の職業がなくて物質面の安定がなかったりすると、正しく落ち着いた心を持つことができないことのとえだそうです。今回のコロナで経済的精神的ダメージを受けていらっしゃる方も多いと思います。聞き取りによりますと、7月1日現在の会員数は1562名(男性1467名 女性95名)。残念ながら地区全体で40数名の方が退会したようです。しかし、7月に入って20名ほどの方が入会され、正確な数字ではありませんが現在1570名台だそうです。ほとんどの会員が残られた。この事実はロータリーの魅力以外何物でもないと思います。

ロータリーは多様性に富み、その思いは人様々だと思いますが、根底にあるものは115年前にポール・ハリスがロータリーをはじめた原点にあると思います。原点、それは荒廃した社会における人と人との心の触

れ合い、心の絆でした。100年という歴史の中で、ロータリーは多くの賛同者のもと巨大化し国際組織に発展していきました。同時に価値観の多様化が進み、統一ルールの必要性から定款細則が定められ、そして時代に適応するように変化してきました。ポール・ハリス自身も1923年、『ロータリーは変化しなければならない。時には革新的にならなければならない』と言っています。しかしながら、普遍のもの、それは『親睦と奉仕の理念』だと私は思っています。あるクラブの年度計画書の会長方針に茶道の『相客に心せよ』という言葉が紹介されていました。千利休の茶道の7原則の第7番目の言葉だそうです。“そもそもお茶とは、どんなに良質の素材を用いて、最高の方法で作り、非常に丁寧にたてたとしても、そこに心がなければ単なる嗜好品で終わってしまう。その心とは、同じ場所に居合わせた人に対しての気遣い、思いやること。それが茶の湯の神髄である”と。

ロータリーの目的の第1項目に、『知り合いを広めることによって奉仕の機会とする』とあります。奉仕の理念は相手のことを思いやり他人のためにつくすことです。まさに茶道における『相客の心』と相通ずるものであると思いました。

私は会社の社員にロータリーの職業奉仕の理念である“仕事をする事の意義”を話しております。職業は利益を得るためにやるのではなく、職業を通じて社会に奉仕することです。

- ◇ お客様に仕事を通じて奉仕することによって、はじめて大きな見返りがある。
- ◇ 仕事はお金を得るためにするのはあたりまえ。でもそこに、相手のため、相手に喜ばれるという発想を持つと、仕事への角度が変わってくる。
- ◇ どうすれば相手に喜ばれるかを常に考えていると、仕事のやり方が変わってくるし、自分自身の向上につながる。
- ◇ そしてそれは人格や人生観の向上にもつながってくる。

シェルドンの奉仕哲学を読んで自分自身が非常に納得させられました。有名な近江商人の『三方よし』もシェルドンの職業奉仕の理念と同様だと思います。さらに現代のCSR(Corporate Social Responsibility・企業の社会的責任)の原点は、昔から言われてきたことなのだ気が付きました。ロータリーの扉を開くことによって、私は大切なことを学び、社員に対して働くことの価値、職業奉仕の理念を説くリソースを受けたのです。

先日、たまたま京セラの稲盛和夫さん(85歳)のDVDを見ました。その稲盛さんが最も大切にしている言葉が“リーダーの心”だそうです。『リーダーを常に意識すると運が好転し人格を作り上げ顔つきも変わってくる。そして会社は一層強くなり安定する。』と何度もおっしゃっていました。リーダーにとって一番大切なものは何か？『能力や才能ではない。思いやりの心である。』ともおっしゃっていました。稲盛氏の人生観はまさにロータリーの考え方そのものであると思います。近江商人の三方よし、千利休の相客の心、稲盛氏の

リーダーの精神やリーダーシップの考え方など、すべてに共通することは“他人を思いやる心”なのです。

私がガバナーを引き受けた理由は二つあります。日頃お世話になっているパストガバナーから頼まれ、断り切れずにお受けしたのが一つ。もう一つは、私の父はロータリーを愛し 1977 年にガバナーを務めました。私自身もロータリーで色々な恩恵を授かりました。ガバナーを引き受けることが、務めでありまた恩返しであると考えたからです。

ガバナー研修に向かう成田空港で一緒になった同期のガバナーエレクトも同じような心境の方たちでした。ホテルに缶詰めの息が詰まるような一週間の研修。しかしながら、終わってみると苦境を乗り越えた達成感で同期ガバナーエレクトの連帯感是非常に深まり、心配は自信と熱意に変わりました。ガバナーエレクトという立場は私にサンディエゴへの機会を与えてくれました。その扉の向こうには、ただの海外旅行では決して経験できない、ロータリーだからこそ経験できる多くのことが学べました。その経験は、まさに私に新しい扉を開いてくれたのです。まさしく、ロータリーは世界のロータリーであることを実感しました。そして私は今年度のテーマ、『Let's make fellows!』としました。皆さんは、社会的に成功した地域のリーダーです。そうでない人と比べて、人生における達成感や満足感が多い方たちだと思います。しかし同時に、背負っている悩み・心配・責任は大きく、このようなコロナ禍では尚一層大きいと思います。コロナ禍でロータリーどころじゃないと思っても、やはりロータリーの仲間は大切。例会が休会してもロータリーの仲間といつも一緒。なぜなら、楽しいからです。これがロータリーの魅力だと私は確信しています。

#### 最後に・・・

私は DVD『ガバナー相原茂吉の想い(Rotary の原点)』を作りました。内容は、ロータリーを心から愛し人生の指針としておりました私の父の話です。僭越ながらこの DVD を YouTube で配信しておりますので、ぜひ一度ご覧ください。(検索: ガバナー 相原 父) 皆さんは、地域のリーダーです。幸せ感や達成感はそうでない人と比べるとかなり大きいと思います。しかし、同時に背負っている責任・悩み・心配はそれ以上に大きいと思います。だからロータリーなのです。ロータリアン同士は価値観が共有できます。結果人生が一層豊かになると確信いたします。皆さん、是非ともロータリーの扉を開いてください！



国際ロータリー第 2570 地区 地区副幹事 高橋哲彦様  
" " 和田尚也様  
ガバナーの随行でまいりました。お世話になります。

- 柴田君 ガバナー相原茂吉様、ガバナー補佐西澤長次様、地区副幹事高橋様 和田様、本日はお暑い中お越しいただきありがとうございます。何卒宜しくご教授下さいます様お願い申し上げます。
- 佐々木君 国際ロータリー第 2570 地区ガバナー相原茂吉様、ガバナー補佐西澤長次様、地区副幹事高橋哲彦様、和田尚也様、本日はようこそおいでくださいました。本日はご指導のほど、よろしくお願い致します。
- 浜野君 国際ロータリー第 2570 地区ガバナー相原茂吉様、他御一同様、ようこそお越し下さいました。本日は御指導宜しくお願い致します。
- 菊田君 国際ロータリー第 2570 地区ガバナー相原茂吉様、他御一同様、お暑い中ようこそおいでいただきありがとうございます。
- 小林君 第 2570 地区ガバナー相原様、ようこそおいで下さいました。この一年どうかよろしくお願い致します。
- 小島君 国際ロータリー第 2570 地区ガバナー相原茂吉様、他ご同行いただいた皆様、ようこそおいでいただきました。ご指導宜しくお願い致します。
- 栗原(成)君 相原ガバナー、暑い中、本日は公式訪問ありがとうございます。
- 沼崎君 8 月は妻の誕生日です。お祝い有難うございます。彼女は昭和 16 年生まれ。日本が戦争に入った年です。今年で 79 歳になりますが、口ばかりでなく元気なことがとりえです。
- 沼崎君 先週の例会を完全に忘れました。ごめんなさい。
- 佐々谷君 お誕生のお祝いをしていただきありがとうございます。
- 清水(武)君 相原ガバナー様、猛暑の中公式訪問ありがとうございます。
- 田端君 国際ロータリー第 2570 地区ガバナー相原茂吉様、ようこそ狭山中央 RC にお越し頂き、大変猛暑の中学ぶ機会をありがとうございます。どうぞ宜敷くお願い申し上げます。

#### ◆ 次の例会 ◆

- 9 月 8 日 (火)  
例会取り止め
- 9 月 15 日 (火)  
第 2 副 SAA : 宮岡会員 守屋会員  
外来卓話 : 土田博様
- 9 月 22 日 (火)  
例会取り止め

